

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
コミュニケーション英語Ⅲ			3	3	105	選
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>より高度なレベルで4技能、特に「読む」・「聴く」の力を伸ばす。</li> <li>パラグラフ・リーディングといった戦略的な読解及び聴解の基本的な技術を身に着ける。</li> <li>共通テスト検定試験等を視野に入れた演習を行う。</li> </ul>					
授業内容	1学期	中間 調査前	Unit 1 Reading skill 1 主語と述語 ～ Unit 5 パラグラフ構成			
		中間 調査後	Unit 6 Reading skill ディスコースマーカー：列挙・例示 ～ Unit 11 スキャニング			
	2学期	中間 調査前	Unit2 Lesson1 ～ Lesson8			
		中間 調査後	Unit3 Lesson9 ～ Lesson14			
3学期		Reading①+Reading②				
評価基準	<p>評価は定期テスト（約60%）+平常点（約40%）とする。 平常点には、課題提出状況・小テスト等を含むこととする。</p>					
教材	<p>教科書：三省堂『My Way English Communication Ⅲ New Edition』 補助教材：三省堂『My Way English Communication Ⅲ ワークブック』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
スポーツ演習			3	2	70	選
ねらい	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>					
授業内容	1学期	<p>オリエンテーション</p> <p>トレーニング 健康状態の確認、自己の体力を知り、自分でトレーニングの目的を考える。 トレーニングの内容決定、計画の立案、実施 トレーニング効果を確認し、内容の見直しと修正</p> <p>球技 ネット型・ベースボール型 基本練習・発展練習・ゲーム</p>				
	2学期	<p>トレーニング 健康状態の確認、自己の体力を知り、自分でトレーニングの目的を考える。 トレーニングの内容決定、計画の立案、実施 トレーニング効果を確認し、内容の見直しと修正</p> <p>球技 ネット型・ベースボール型 基本練習・発展練習・ゲーム</p>				
	3学期	<p>トレーニング 健康状態の確認、自己の体力を知り、自分でトレーニングの目的を考える。 トレーニングの内容決定、計画の立案、実施 トレーニング効果を確認し、内容の見直しと修正</p> <p>球技 ネット型・ベースボール型 基本練習・発展練習・ゲーム</p> <p>年間の内容の振り返り 一年間の反省・まとめ</p>				
評価基準	<p>①「出席状況」（欠席、見学、遅刻） ②「関心・意欲」 ③「態度」 ④「技能・表現」 上記①～④を総合して評価する。 ①・②・③は各5点、④は各15点とし、計30点満点の得点に応じて評価をつける。 欠席時数が授業の3分の1を越えた場合と5段階評定が『1』の場合は、単位は認定しない。</p>					
教材	<p>教科書： 大修館書店『現代高等保健体育 改定版』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
音楽Ⅲ			3	2	70	選
ねらい	音楽は人が心豊かに生きていく上で大きな存在となる。音楽を通して自己表現の手段を見つけ、生涯にわたり音楽を愛好する心を育てる。また、感性を高め、思いやりをもち、他を受け入れられる客観的で広い心を育てる。					
授業内容	1学期	中間 考査前	オリエンテーション ソルフェージュ（新曲視唱・聴音） 器楽・声楽実技			
		中間 考査後	ソルフェージュ（新曲視唱・聴音） 器楽・声楽実技 作曲演習			
	2学期	中間 考査前	ソルフェージュ（新曲視唱・聴音） 器楽・声楽実技 作曲演習			
		中間 考査後	ソルフェージュ（新曲視唱・聴音） 器楽・声楽実技 作曲演習			
3学期	学習の総括					
評価基準	<p>1、 考査に代わり、授業内での発表や試験を行う。</p> <p>2、 発表に向けての取り組み方、授業態度、出席状況を総合的にみて評価を出す。</p>					
教材	教科書： 教育芸術社『Joy of Music』					

令和5年度 年間授業計画

科目名	担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
音楽学基礎		3	2	70	選
ねらい	音楽理論を中心として、音楽学と呼ばれる分野に内包される学問を広く知ること。また、それらが演奏等の実際的な音楽にどのように関連しているのかを探求する。				
授業内容	1 学期	中間 考査前	オリエンテーション 楽典 器楽演習		
		中間 考査後	楽典 器楽演習		
	2 学期	中間 考査前	楽曲分析を伴う実技演習		
		中間 考査後	楽曲分析を伴う実技演習		
	3 学期	学習の総括			
	評価基準	1、 考査に代わり、授業内での発表や試験を行う。 2、 発表に向けての取り組み方、授業態度、出席状況を総合的にみて評価を出す。			
教材	自校作成プリント				

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
家庭科演習			3	2	70	選
ねらい	<p>被服の構成、被服製作、着装などに関する知識と技術を習得させ、被服を能率的・機能的・美的に制作する能力と態度を育てる。また、被服材料、被服管理などに関する知識も習得させるとともに着装に関して豊かな衣生活を営む能力を育てる。</p> <p>少人数授業を活かし、生徒の個人技術力に応じた作品製作を行なう。</p>					
授業内容	1学期	中間 調査前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎縫いの確認（手縫い） 縫い方の基本を身に付ける</li> <li>・ミシンの使い方の確認 簡易な作品（巾着など）</li> </ul>			
		中間 調査後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンの使い方の確認 簡易な作品（巾着など）</li> <li>・平面構成の被服製作、 浴衣や甚平など平面構成の和裁を基本とし製作する。 (裁断・印付け・袖作り)</li> </ul>			
	2学期	中間 調査前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成の被服製作、 浴衣や甚平など平面構成の和裁を基本とし製作する。 (背縫い・おくみ付け・えりつけ)</li> </ul>			
		中間 調査後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成の被服製作、 浴衣や甚平など平面構成の和裁を基本とし製作する。（縫製） （袖付け・縫い代の始末）</li> <li>・和装文化「浴衣着付け」の修得</li> </ul>			
3学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・和装文化「浴衣着付け」の修得</li> </ul>				
評価基準	<p>① 授業・・・授業態度（遅刻・忘れ物、課題に取り組む姿勢、道具の準備後片付けなど）</p> <p>② 提出物・・・提出物の内容（努力・工夫・意欲）と提出状況</p> <p>③ 作品・・・完成度、期日までの完成。</p> <p>以上を総合して、おおむね以下のように評価する。定期テストは行わない。 期日までに未完成の作品がある場合は、赤点とする。</p>					
教材	<p>教科書：教育図書 新家庭総合『今を学び 未来を描き 暮らしをつくる』</p> <p>補助教材：教育図書 『L I F E おとなガイド』</p>					



令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
家庭総合			3	2	70	必
ねらい	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、グループワークを通して、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
授業内容	1学期	中間 調査前	第1章 人の一生と家族 ・人生ってなんだろう？人の一生はどうなっている？ 「人生すごろく」制作	第4章 消費生活 ・経済から見た暮らし		
		中間 調査後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計とその特徴</li> <li>・家計を計画的に管理する</li> <li>・賃貸住宅について</li> <li>・一人暮らしの生活設計を考えよう</li> </ul>			
	2学期	中間 調査前	第6章 衣生活 ・衣服の機能 ・ミシンを使用した被服製作 用具と使用方法の修得			
		中間 調査後	第6章 衣生活 ・ミシンを使用した被服製作 用具と使用方法の修得			
	3学期	第6章 衣生活 ・リサイクル・装飾・アレンジ ・作品発表  年間のまとめ				
評価基準	各学期の期末考査の点数、授業態度、授業中に出されたプリントの提出や記入状況、グループ学習、作品の完成度、実習レポート等を基に総合的に評価する。					
教材	教科書：教育図書『今を学び 未来を描き 暮らしをつくる』 補助教材：教育図書『LIFEおとなガイド』					







令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
現代文B			3	2	70	必
ねらい	<p>二年次までに養った国語の基礎的な読解力を発展させる。</p> <p>1. 近代以降のさまざまな文章に触れ、ものの見方・考え方を深める。</p> <p>2. 文章を読み込むおもしろさを知り、日常的な読書の習慣化を図る。</p>					
	授業内容	1 学期	中間 考査 前	<p>1. 評論を読み、筆者の主張を的確に読み取る力を養う。</p> <p>2. 小説を読み、その主題と構想を理解して、作者が寓意するところのものを理解する。</p> <p>岩井 克人 「未来世代への責任」 恩田 陸 「骰子の七の目」</p>		
中間 考査 後			<p>1. 評論文を読み、評論の論旨をとらえ、要旨を的確に理解する力を養う。</p> <p>野矢 茂樹 「言語が見せる世界」</p>			
2 学期		中間 考査 前	<p>1. 小説を読み、その主題と構想を理解して、作者が寓意するところのものを理解する。</p> <p>遠藤 周作 「幼なじみたち」</p>			
		中間 考査 後	<p>1. 評論文を読み、問いに対する答えに着目し、文章の主旨を読み取る力を養う。</p> <p>中村雄二郎 「目に見える制度と見えない制度」</p>			
3 学期		<p>1. 小説を読み、戦争の状況を捉え、平和について考えを深める。</p> <p>米原 万里 「バグダッドの靴磨き」</p>				
評価基準		<p>1. 評価については、考査点70%、平常点30%の割合で扱い、その合算から評価・評定をつける。</p> <p>2. 平常点は、授業に取り組む姿勢（小テスト・出席・提出物・授業に取り組む姿勢など）を点数化する。</p>				
教材	<p>教科書： 第一学習社『高等学校 改訂版 現代文B』</p> <p>補助教材： 浜島書店『キーワード漢字2700』 浜島書店『最新国語便覧』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
古典演習			3	2	70	選
ねらい	<p>1・2年次に養った古典の基礎・基本についての力を発展させる。</p> <p>1. まとまりのある古文を読み、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。</p> <p>2. 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解する。</p>					
授業内容	1学期	中間 考査前	<p>○古文単語・文法、古典常識を習得し、基礎的な読解力を高める。</p> <p>【完成古典】1. 発心集 ～ 3. 鶉衣</p> <p>【新精選古典文法 三訂版】動詞、形容詞・形容動詞</p>			
		中間 考査後	<p>○古文単語・文法、古典常識を習得し、基礎的な読解力を高める。</p> <p>【完成古典】4. 玉勝間 ～ 8. 史記</p> <p>【新精選古典文法 三訂版】助動詞</p>			
	2学期	中間 考査前	<p>○古文単語・文法、古典常識を習得し、基礎的・発展的な読解力を高める。</p> <p>【完成古典】9. 西鶴諸国ばなし ～ 16. 説話新語</p> <p>【新精選古典文法 三訂版】助動詞</p>			
		中間 考査後	<p>○古文単語・文法、古典常識を習得し、発展的な読解力を高める。</p> <p>【完成古典】17. 大和物語 ～ 20. 晏子春秋</p> <p>【新精選古典文法 三訂版】助詞</p>			
	3学期		<p>○古文単語・文法、古典常識を習得し、発展的な読解力を高める。</p> <p>大学入学共通テスト、私立大学過去問題演習</p> <p>【新精選古典文法 三訂版】敬語</p>			
評価基準	<p>1. 評価については、考査点70%、平常点30%の割合で扱い、その合算から評価・評定をつける。</p> <p>2. 平常点は、授業に取り組む姿勢（小テスト・出席・提出物・授業に取り組む姿勢など）を点数化する。</p>					
教材	<p>補助教材：東京書籍『新精選古典文法 三訂版』</p> <p>尚文出版『〈改訂版〉完全頻度順入試対策ベストセレクション 古文単語325』</p> <p>第一学習社『カラー版新国語便覧』</p> <p>尚文出版『3ステップオリジナル問題集完成古典〈大学入学共通テスト対策 改訂版〉3 解答冊子タイプ』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選	
国語総合演習			3	2	70	選	
ねらい	二年度までに養った国語の基礎的な読解力を発展させる。 1. 近代以降のさまざまな文章に触れ、ものの見方・考え方を深める。 2. 文章を読んで構成を理解し、その要旨を把握し、それに対する意見を言えるようにする。						
	授業内容	1学期	中間 考 査 前 1学期は以下の文章を読みながら、読解の基礎を固める。 ①片岡 義男 「日本語の外へ」 ⑥佐伯 啓思 「20世紀とは何だったのか」 ②串田 孫一 「孤独な蝶」 ⑦芥川龍之介 「英雄の器」 ③井上 靖 「あすなる物語」 ⑧竹内 薫 「仮説力」 ④田中 優子 「布のちから」 池谷 裕二 「進化しすぎた脳」 ⑤三浦 綾子 「塩狩峠」 ⑩新傾向問題 「伝え合いに関する意見文」				
		2学期	中間 考 査 後 ⑩阿刀田 高 「日曜日の読書」 ⑬黒川伊保子 「恋するコンピュータ」 ⑪柏木 博 「デザインの教科書」 ⑭川上 弘美 「センセイの鞆」 ⑫鷺田 清一 「都市の感情」 吉野 弘 「祝婚歌」 ⑬平岩 弓枝 「花影の花」 ⑮小林 秀雄 「私の人生観」 ⑭奥泉 光 「弓を放り込む虚構」 ⑮見田 宗介 「社会学入門」				
	2学期	中間 考 査 前 2学期中間考査までは以下の文章を読みながら、より高度な読解力を養う。 ⑱町田 宗鳳 「『野生』の哲学」 ⑳司馬遼太郎 「明治百年」 ㉑木崎さと子 「青桐」 ㉒蜂飼 耳 「詩集とは何か」 ㉓河野 哲也 「脳から身体・環境へ」 室生 犀星 「新しい詩とその作り方」 ㉔高橋 玄洋 「失われた『道』の豊かさ」 ㉕村山 由佳 「星々の舟」 ㉖石川 淳 「黄金伝説」 ㉗中井 久夫 「生き残る言語」					
2学期	中間 考 査 後 入試の過去問演習を行いながら、さまざまな文章を読解する。						
3学期	学習の総括						
評価基準	1. 評価については、考査点70%、平常点30%の割合で扱い、その合算から評価・評定をつける。 2. 平常点は、授業に取り組む姿勢（小テスト・出席・提出物・授業に取り組む姿勢など）を点数化する。						
教材	教科書：大修館『国語表現 改訂版』 補助教材：浜島書店『錬成現代文2+』 Z会『現代文キーワード読解』【改訂版】						

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
視覚デザイン			3	2	70	選
ねらい	視覚デザインでは、視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けさせる。また表現及び鑑賞に関する創造的な思考、判断力、表現力等を育成する。ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う					
授業内容	1 学期	中間 考査 前	① オリエンテーション 視覚デザインでは何を学ぶのか ② 様々な空間表現について学ぶ 遠近法（空気遠近法、透視図法、明暗法、逆遠近法、短縮法）や明暗法などによる作図 二点透視図による演習、パターン構成によるカラープラン			
		中間 考査 後	③ 植物画の制作 海岸周辺で植物を採集。標本をつくり、名称種別を植物図鑑で調べて素描の後ドローイングペンで輪郭を描き、その後パステル、色鉛筆等で彩色する ④ 切絵の造形（ディズニーキャラクター） A4サイズの工芸用色紙をデザインカッターで切り抜く			
	2 学期	中間 考査 前	⑤ 文化祭（黒潮祭）のポスター制作 コンセプトづくり→アイデアスケッチ（文字とタイポグラフィの構成）→カラープラン（色彩計画をたてる）→着彩（すべてを総合して完成させる）			
		中間 考査 後	⑥ 絵本をつくる（エディトリアル・デザイン） 本づくりの基本を学ぶ→練習に8ページの小冊子をつくる）→様々な絵本を参照しアイデアを練る→ストーリーをつくり絵コンテにする→絵柄を描く			
3 学期		⑦ さまざまな造形デザイン（猫マスクの制作、プレゼントボックスのデザインほか） マスクの歴史を調査、多様な技術を使ってオリジナルな作品を目指す。また10cm立方体の箱にパッケージデザインを施す。プレゼントする対象を明確にしてイメージを膨らませる。ほかにヘアスタイル、服飾、靴など多様なデザインを試みる				
評価基準	各学期の中間・期末考査までに提出された作品をテーマ設定、コンセプト、技術的習熟度、および授業時の作品制作に取り組む姿勢などを鑑み、総合的な観点に基づき評価していく。（5点満点） 1→作品未提出、出席数不十分の場合に単位習得認定ができない場合がある 2→作品は提出するが課題内容の理解が不十分で指導要件に到達していない 3→技術的に問題はないが、まだ努力する余地を残している 4→課題内容を十分理解し優秀なレベルに到達している 5→課題内容の理解に優れて独自の創造性に裏打ちされ完成度が高い					
教材	適宜、課題に応じて教材や資料プリントを配布する					

令和5年度 年間授業計画

科目名	担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
情報科演習		3	2	70	選
ねらい	<p>情報社会に積極的に参画する態度を育てる。                      生徒の創造的な思考力や表現力などを育成する。                      目的を達成するために必要な知識・技術を習得する。</p>				
授業内容	1 学期	中間 考査前	<p>情報とメディアの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものと情報</li> <li>・効果的なメディア</li> </ul>		
		中間 考査後	<p>情報の表現と伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ設定</li> <li>・情報収集</li> </ul>		
	2 学期	中間 考査前	<p>情報の表現と伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集、処理、表現</li> </ul>		
		中間 考査後	<p>卒業制作（課題研究）</p>		
3 学期	<p>卒業制作（課題研究）</p>				
評価基準	<p>① 学習評価・評定は、出席状況や学習態度、提出物、実技、発表などの平素の学習活動を統合して行う。                      ② 学習成績の評価・評定は、毎学期末と学年末に行う。</p>				
教材	<p>「教科書」：実教出版『高校社会と情報 新訂版』</p>				

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員		学年	単位	年間時数	必・選
数学Ⅰ・A				3	2	70	選
ねらい	<p>数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。</p>						
授業内容	1学期	中間 調査前	総合問題演習				
		中間 調査後	総合問題演習				
	2学期	中間 調査前	総合問題演習				
		中間 調査後	総合問題演習				
	3学期	総合問題演習					
	評価基準	<p>定期考査のほかに出席状況や学習態度、提出物などの平素の学習活動を統合して評価する。</p>					
教材	<p>教科書 : 数研出版 『新数学Ⅰ』 『新数学A』                      補助教材 : 株式会社ラーンズ 『2023共通テスト数学Ⅰ・A』</p>						

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
数学演習			3	2	70	選
ねらい	<p>数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。</p>					
授業内容	1学期	中間 調査前	総合問題演習			
		中間 調査後	総合問題演習			
	2学期	中間 調査前	総合問題演習			
		中間 調査後	総合問題演習			
	3学期	総合問題演習				
評価基準	<p>定期考査のほかに出席状況や学習態度、提出物などの平素の学習活動を統合して評価する。</p>					
教材	<p>教科書 : 数研出版 『新数学Ⅰ』 『新数学A』                      補助教材 : 株式会社ラーンズ 『2023共通テスト数学Ⅰ・A』</p>					



令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
世界史A			3	2	70	必
ねらい	<p>「歴史感覚＝現在を時の流れの中で考えようとする気持ち」を養い、現在を理解し未来を見据え、みずからの道を主体的に切り開いていく力を身につけさせる。また、世界各地の多様な価値観を尊重し、グローバル化が進む国際社会の中で他国、他地域の人々とともに生きる能力と態度を養う。</p>					
授業内容	1 学期	中間 考査前	①帝国主義の時代 1. 帝国主義の時代    2. 列強の世界政策    3. アジア太平洋地域の分割とロシア 4. 中国分割の危機と日本			
		中間 考査後	5. アジア諸国の変革    6. 戦間期の欧米と日本 ②世界戦争と平和 1. 第一次世界大戦とロシア革命    2. ヴェルサイユ・ワシントン体制 3. 東アジアの民族運動			
	2 学期	中間 考査前	4. 世界恐慌    5. ファシズムの台頭    6. 日本の軍国主義と中国 7. 第二次世界大戦			
		中間 考査後	③三つの世界と日本の動向 1. 戦後世界の出発    2. 戦後のアジア    3. 緊張緩和と多極化 ④地球社会への歩みと課題 1. アメリカ合衆国    2. アジア・アフリカの変容			
3 学期	3. 冷戦の終結    4. 経済のグローバル化    5. 21世紀の世界と日本 ⑤持続可能な社会への展望					
評価基準	<p>「関心・意欲・態度」「技能・表現」「知識・理解」「思考・判断」の4つの観点から総合的に評価する。上記の観点の評価するにあたり、以下の方法をとる。</p> <p>1. 平常点：日頃の授業態度や発言、出席状況、ノートの提出状況、取組の様子を勘案する。                      2. 定期考査：年間5回実施する。                      上記1、2を勘案して評定を付ける。</p>					
教材	教科書：実教出版 『新版 世界史A 新訂版』					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
政治経済			3	2	70	必
ねらい	<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>					
授業内容	1 学期	中間 考査前	<p>現代国家と民主主義</p> <p>1. 民主政治の成立                                  2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題                      4. 世界のおもな政治制度</p>			
		中間 考査後	<p>日本国憲法と基本的人権</p> <p>1. 日本国憲法の成立                                2. 日本国憲法の基本原則 3. 基本的人権    4. 新しい人権 5. 人権の広がり と公共の福祉</p>			
	2 学期	中間 考査前	<p>日本の政治制度と政治参加</p> <p>1. 政治機構と国会                                   2. 内閣と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障                                4. 地方自治と住民福祉</p>			
		中間 考査後	<p>5. 政党政治    6. 選挙制度 7. 世論と政治参加</p>			
3 学期	<p>日本の平和主義と国際平和</p> <p>1. 平和主義と自衛隊                                2. 日米安全保障体制の変化 3. 21世紀の平和主義                               4. 日本の外交と国際社会での役割</p>					
評価基準	<p>定期考査（年間5回）を中心に、提出物、授業への取り組み姿勢を加味し、総合的に評価する。</p>					
教材	<p>教科書：実教出版『最新政治・経済 新訂版』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
総合英語A			3	2	70	選
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解に対する高いレベルの語彙力・文法力・論理力等を育成する。</li> <li>・大学入試問題や資格試験での答案作成能力を高める。</li> </ul>					
授業内容	1 学期	中間 調査前	Unit1 資料の読み取り Unit2 大衆文化 Unit3 インタビュー Unit4 コミュニケーション			
		中間 調査後	Unit5 自然環境 Unit6 社会生活 Unit7 エネルギー Unit8 娯楽			
	2 学期	中間 調査前	Unit9 比較文化 Unit10 エッセイ Unit11 日常生活 Unit12 言語			
		中間 調査後	Unit13 環境論 Unit14 ノンフィクション Unit15 日本文化 Unit16 健康・医学			
3 学期		Unit17 教育 Unit18 政治				
評価基準	<p>評価は定期テスト（約60%）＋平常点（約40%）とする。</p> <p>平常点には、課題提出状況・小テスト等を含むこととする。</p>					
教材	<p>桐原書店『SKYWARD CLOUDS course 2<sup>nd</sup> Edition』</p> <p>桐原書店『SKYWARD CLOUDS course 2<sup>nd</sup> Edition 予習・復習ノート』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名	担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
体育（女子）		3	2	70	必
ねらい	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>				
授業内容	1学期	<p>「オリエンテーション」・・・授業の進め方について確認                      「身体測定」・・・身長・体重・視力・聴力                      「ソフトボール」                      基本練習・・・キャッチボール、フライの捕球、ゴロの捕球、送球、バッティング、スリングモーションなど                      応用練習・・・ワンバウンドの捕球、ウィンドミルモーション、バント、2チームに分かれてゲーム                      「体力測定・体づくり運動」・・・握力・長座体前屈・反復横とび・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・20mシャトルラン                      「球技大会実施種目の練習」                      「体育理論」・・・生涯スポーツの見方・考え方、ライフスタイルに応じたスポーツ</p>			
	2学期	<p>「ダンス」・・・現代的なリズムのダンス、基礎ステップ、村民大運動会での発表用ダンス                      「バスケットボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、チェストパス                      ドリブルシュート、ジャンプシュートなど                      応用練習・・・スクリーン、ゾーン・マンツーマンディフェンスなど                      2チームに分かれてゲーム                      「バレーボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク                      レシーブなど、2チームに分かれてゲーム                      応用練習・・・フェイント、Aクイック、Bクイックなど                      「体育理論」・・・日本のスポーツ振興</p>			
	3学期	<p>「バドミントン」                      基本練習・・・スマッシュ、ドライブ、ドロップ、クリアー、ロブ、サーブなど                      応用練習・・・ゲーム（ダブルス）                      「卓球」                      基本練習・・・ツッツキ、ドライブ、サービス                      応用練習・・・スマッシュ、ゲーム                      「体育理論」・・・スポーツと環境</p>			
評価基準	<p>①「出席状況」（欠席、見学、遅刻）                      ②「関心・意欲」                      ③「態度」                      ④「技能・表現」                      上記①～④を総合して評価する。                      ①・②・③は各5点、④は各15点とし、計30点満点の得点に応じて評価をつける。</p> <p>欠席時数が授業の3分の1を越えた場合と5段階評定が『1』の場合は、単位は認定しない。</p>				
教材	<p>教科書： 大修館書店『現代高等保健体育 改定版』</p>				

令和5年度 年間授業計画

科目名	担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
体育（男子）		3	2	70	必
ねらい	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>				
授業内容	1学期	<p>「オリエンテーション」・・・授業の進め方についての確認                      「身体測定」・・・身長・体重・視力・聴力                      「ソフトボール」                      基本練習・・・キャッチボール、フライの捕球、ゴロの捕球、送球、バッティング、スリングモーションなど                      応用練習・・・ワンバウンドの捕球、ウィンドミルモーション、バント、2チームに分かれてゲーム                      「体力測定・体づくり運動」・・・握力・長座体前屈・反復横とび・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・20mシャトルラン                      「球技大会種目の練習」                      「体育理論」・・・生涯スポーツの見方・考え方、ライフスタイルに応じたスポーツ</p>			
	2学期	<p>「ダンス」・・・現代的なリズムのダンス、基礎ステップ、村民大運動会での発表用ダンス                      「バスケットボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、チェストパス                      ドリブルシュート、ジャンプシュートなど                      応用練習・・・スクリーン、ゾーン・マンツーマンディフェンスなど                      2チームに分かれてゲーム                      「バレーボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイクレシーブなど、2チームに分かれてゲーム                      応用練習・・・フェイント、Aクイック、Bクイックなど                      「体育理論」・・・日本のスポーツ振興</p>			
	3学期	<p>「バドミントン」                      基本練習・・・スマッシュ、ドライブ、ドロップ、クリアー、ロブ、サーブなど                      応用練習・・・ゲーム（ダブルス）                      「卓球」                      基本練習・・・ツッツキ、ドライブ、サービス                      応用練習・・・スマッシュ、ゲーム                      「体育理論」・・・スポーツと環境</p>			
評価基準	<p>①「出席状況」（欠席、見学、遅刻）                      ②「関心・意欲」                      ③「態度」                      ④「技能・表現」                      上記①～④を総合して評価する。                      ①・②・③は各5点、④は各15点とし、計30点満点の得点に応じて評価をつける。</p> <p>欠席時数が授業の3分の1を越えた場合と5段階評定が『1』の場合は、単位は認定しない。</p>				
教材	<p>教科書： 大修館書店『現代高等保健体育 改定版』</p>				

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
調理演習			3	2	70	選
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と食事は深く関わっていることを理解する。</li> <li>基本的な調理操作の方法や意味や調理器具の特徴について理解し、調理の基本を身につける。</li> <li>献立に適した食品を選択し、食品の調理性をふまえた適切な調理ができるようにする。</li> <li>食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができるようにする。</li> </ul>					
授業内容	1学期	中間 考査前	食を取り巻く状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の食の状況、若年者の状況</li> <li>計量の仕方、包丁の扱い方、切り方</li> </ul> 食品の安全と衛生 <ul style="list-style-type: none"> <li>食中毒予防について</li> </ul>			
		中間 考査後	調理の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>調理実験（砂糖・米）</li> <li>調理実習（郷土料理）</li> <li>調理実習（小麦粉の調理①）</li> </ul>			
	2学期	中間 考査前	調理の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習（小麦粉の調理②）</li> <li>調理実習（小麦粉の調理③）</li> <li>調理実習（オーブンを活用した献立）</li> </ul>			
		中間 考査後	調理の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習（お弁当）</li> <li>調理実習（朝食）</li> <li>調理実習（製菓）</li> <li>自由献立</li> </ul>			
3学期	献立作成・実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>自由献立</li> <li>テーブルコーディネート</li> </ul>					
評価基準	1, 2学期の期末考査の点数、授業態度、授業中に出されたプリントの提出や記入状況、実習への取り組み、グループ学習、作品の完成度、実習レポート等を基に総合的に評価する。 実習時には実技テストを実施し、点数化して評価する。					
教材	教科書：教育図書『フードデザイン COOKING & ARRANGEMENT』					



令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
日本史演習			3	4	140	選
ねらい	日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
授業内容	1学期	中間 考査前	明治時代の日本 明治政府はどのように「近代化」を果たし、大国ロシアに勝利することができたのか 明治維新・自由民権運動・日清戦争・日露戦争			
		中間 考査後	二つの世界大戦とアジア 第1次世界大戦・ワシントン体制・恐慌の時代・第2次世界大戦			
	2学期	中間 考査前	占領下の日本と高度経済成長の時代 占領と改革・冷戦の開始と講和・55年体制・経済復興から高度成長			
		中間 考査後	近代以前の概説・問題演習			
3学期		問題演習				
評価基準	<p>「関心・意欲・態度」「技能・表現」「知識・理解」「思考・判断」の4つの観点から総合的に評価する。上記の観点の評価するにあたり、以下の方法をとる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点：日頃の授業態度や発言、出席状況、ノートの提出状況、取組の様子を勘案する。</li> <li>2. 定期考査：年間4回実施する。</li> </ol> <p>上記1、2を勘案して評定を付ける。</p>					
教材	<p>教科書：山川出版『詳説日本史』 補助教材：浜島書店『新詳日本史』</p>					



令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
子どもの発達と保育			3	2	70	選
ねらい	人間の発達には様々な要因が関係することを知り、正しい保育観を養うとともに、保育園実習を通して直接子どもと触れ合うことで子どもへの理解を深める。また、保育にかかわる仕事について調べ、職業選択に役立てる。					
授業内容	1学期	中間 調査前	子どもの発達と特性 ・子どもの発達と特性について理解する ・保育実習で使う名札をフェルトで作る ・壁面装飾などの作成			
		中間 調査後	子どもの発達と過程 ・保育実習報告 ・幼児の発達に応じたおもちゃを作る  保育実習：はまゆう保育園			
	2学期	中間 調査前	子どもの生活 ・保育実習報告 ・乳幼児の発育、精神発達について学ぶ  保育実習：はまゆう保育園			
		中間 調査後	子どもの生活 ・乳幼児の人間関係の発達、発達の個別性と保育について学ぶ ・幼児の発達に応じたおもちゃを作る ・幼児の発達に応じた手遊びや体操を考える  保育実習：はまゆう保育園			
3学期		まとめ ・最終発表会に向けての準備（ピアノ・絵本・ダンス・紙芝居 など）  保育実習：はまゆう保育園				
評価基準	授業態度、授業中に出されたプリントの提出や記入状況、グループ学習、作品の完成度、実習レポート等を基に総合的に評価する。					
教材	教科書： 実教出版『子どもの発達と保育 新訂版』					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
論証国語表現			3	2	70	選
ねらい	<p>文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、適切に話したり書いたりする力を養う。</p> <p>1 文章の構成や要旨を把握する力を養い、思考力を伸ばす。</p> <p>2 様々な表現に触れ、言語感覚を磨き、国語の向上を図る。</p> <p>3 表現活動の中で想像力を働かせ、豊かな感性や情緒を育む。</p>					
授業内容	1 学期	中間 考査前	<p>○絵や写真を用いて、相手に伝わる文章の書き方を習得する。</p> <p>    レッスン4 絵や写真を見て書く (3) 写真を見て文章を書く</p> <p>○小論文とは何かを理解し、強い説得力を持たせる表現方法を習得する。</p> <p>    レッスン1 小論文とは何か</p> <p>【国語常識の学習】 第1回～第2回</p>			
		中間 考査後	<p>○読書に親しむ姿勢を養い、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>    ビブリオバトル発表準備・クラス内予選</p> <p>【国語常識の学習】 第3回～第5回</p>			
	2 学期	中間 考査前	<p>○小論文とは何かを理解し、強い説得力を持たせる表現方法を習得する。</p> <p>    レッスン2 反論を想定して書く</p> <p>○自分の魅力や特長をわかりやすく印象的に伝える表現方法を習得する。</p> <p>    レッスン1 自分を見つめて(1) ライフチャート (2) 長所・短所</p> <p>【国語常識の学習】 第6回～第8回</p>			
		中間 考査後	<p>○国語科の学習の成果を発揮し、黒潮祭に向けた作品制作を行う。</p> <p>    黒潮祭に出品する作品の制作(詩・短歌・俳句・書など)</p> <p>○3年間の表現学習のまとめとして、作品制作を行う。～卒業文集の制作～</p> <p>【国語常識の学習】 第9回～第11回</p>			
	3 学期		<p>○3年間の表現学習のまとめとして、作品制作を行う。～卒業文集の制作～</p> <p>【国語常識の学習】 第12回</p>			
評価基準	<p>1 文章記述を行う単元については、提出された課題の完成度を数値化して評価の対象とする。</p> <p>2 文章記述を行わない単元については、発表内容の完成度を数値化して評価の対象とする。</p> <p>3 国語常識について、毎週授業内テストを行い、その得点を評価の対象とする。</p> <p>4 上記1・2の単元を問わず、授業・課題への積極性や課題の提出状況、出席状況や授業態度等を数値化して、3と合わせて最終的な評価とする。</p>					
教材	<p>補助教材： 大修館書店『国語表現 基礎練習ノート』</p> <p>京都書房『テスト式 国語常識の総演習 修訂三版増補』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
英語会話			3	3	105	選
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を話したり、聞いたりする力を伸ばすことを主眼とする。</li> <li>聞こえたことや、話せたことを、英語で書けるようにする。</li> <li>英語に対する苦手意識をなくし、生涯にわたって興味関心を抱けるようにする。</li> </ul>					
授業内容	1学期	中間 考査前	表現：自己紹介、相手について尋ねる 文法事項：動詞、助動詞、文構造			
		中間 考査後	表現：意見を言う、興味・関心を伝える 文法事項：存在を表す構文、進行形、疑問文			
	2学期	中間 考査前	表現：許可を求める、説明する、助言する 文法事項：主語の省略と命令文、所有代名詞、否定詞			
		中間 考査後	表現：描写する、予定を尋ねる・答える、習慣を説明する 文法事項：itの用法、同格の用法、疑問文における省略			
3学期	表現：感想を述べる、推測する、主張する 文法事項：不定詞、感嘆文、動名詞					
評価基準	<p>評価は授業内テスト（約50%）＋平常点（約50%）とする。</p> <p>平常点には、出席状況・授業態度・課題提出状況・授業内発表を含むこととする。</p>					
教材	教科書：文英堂『My Passport English Conversation』					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
総合英語B			3	2	70	選
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試の読解に対応できる高いレベルの語彙力・文法力・論理力等を育成する。</li> <li>・大学入試問題や資格試験での答案作成能力を高める。</li> </ul>					
授業内容	1学期	中間 調査前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習文法事項の確認</li> <li>・句と節</li> <li>・品詞と文の要素</li> <li>・接続詞と接続副詞</li> </ul>			
		中間 調査後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文構造の理解</li> <li>・重要構文の理解</li> <li>・英文和訳、読解演習</li> </ul>			
	2学期	中間 調査前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要構文演習</li> <li>・英文和訳、読解演習</li> </ul>			
		中間 調査後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試問題演習</li> <li>・重要構文演習</li> <li>・英文和訳、速読演習</li> </ul>			
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試問題演習</li> <li>・重要構文演習</li> <li>・英文和訳、速読演習</li> </ul>					
評価基準	<p>評価は定期テスト（約70%）＋平常点（約30%）とする。</p> <p>平常点には、出席状況・授業態度・課題提出状況・小テスト・授業内発表を含むこととする。</p>					
教材	<p>Z会『英文読解 FOCUS 和訳編』</p> <p>Z会『英文速読ドリル 10minutes Level3』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
生物			3	4	140	選
ねらい	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的及び発展的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
授業内容	1 学期	中間 考 査 前	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞 2章 生命現象を支えるタンパク質 3章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製 2章 遺伝情報の発現			
		中間 考 査 後	2編 遺伝子のはたらき 3章 遺伝子の発現調節 4章 バイオテクノロジー 3編 生殖と発生 1章 多様な個体が生じる有性生殖 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ 4章 植物の発生			
	2 学期	中間 考 査 前	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動 3章 植物の環境応答			
		中間 考 査 後	5編 生態と環境 1章 生物の多様性と生態学 2章 個体群と生物群集 3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 4章 生態系と生物多様性 6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷 2章 進化のしくみ 3章 生物の系統			
3 学期		総合問題演習				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査 7割</li> <li>・その他 3割</li> </ul> ＊その他の内容：提出物、実験レポート、小テスト、授業態度					
教材	教科書：東京書籍『スタンダード生物』 補助教材：東京書籍『ニューサポート スタンダード生物』 第一学習社『セミナー生物基礎＋生物』					



令和5年度 年間授業計画

科目名		担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
生物演習			3	2	70	選
ねらい	<p>生物基礎や生物で学習した内容をもとに発展的な演習や探究活動を行い、生物学だけでなく、生物学を取り巻く学問分野の解析手法を含めて横断的に事象を理解、解析し、生物学にかかわるさまざまな課題を解決する能力を育成する。</p>					
授業内容	1 学期	中間 考 査 前	<p>1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞 2章 生命現象を支えるタンパク質 3章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製 2章 遺伝情報の発現</p>			
		中間 考 査 後	<p>2編 遺伝子のはたらき 3章 遺伝子の発現調節 4章 バイオテクノロジー 3編 生殖と発生 1章 多様な個体が生じる有性生殖 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ 4章 植物の発生</p>			
	2 学期	中間 考 査 前	<p>4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動 3章 植物の環境応答</p>			
		中間 考 査 後	<p>5編 生態と環境 1章 生物の多様性と生態学 2章 個体群と生物群集 3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 4章 生態系と生物多様性 6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷 2章 進化のしくみ 3章 生物の系統</p>			
3 学期		問題演習				
評価基準	<p>・定期考査 7割 ・その他 3割 *その他の内容：提出物、実験レポート、小テスト、授業態度</p>					
教材	<p>教科書：東京書籍『スタンダード生物』 補助教材：東京書籍『ニューサポート スタンダード生物』 第一学習社『セミナー生物基礎+生物』</p>					

令和5年度 年間授業計画

科目名	担当教員	学年	単位	年間時数	必・選
体育（女子）		3	2	70	必
ねらい	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>				
授業内容	1学期	<p>「オリエンテーション」・・・授業の進め方について確認                      「身体測定」・・・身長・体重・視力・聴力                      「ソフトボール」                      基本練習・・・キャッチボール、フライの捕球、ゴロの捕球、送球、T バッティング、基本ルールの認識など                      「体力測定・体づくり運動」・・・握力・長座体前屈・反復横とび・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・20mシャトルラン</p> <p>ダイビング体験講習・・・潜り方、救助法                      「球技大会種目の練習」                      「体育理論」・・・スポーツの技術と戦術、技能の上達課程と練習</p>			
	2学期	<p>「ダンス」・・・現代的なリズムのダンス、基礎ステップ、村民大運動会での発表用ダンス                      「バスケットボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、チェストパス                      ドリブル、シュート、ジャンプシュートなど                      「バレーボール」                      基本練習・・・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク                      レシーブなど、2チームに分かれてゲーム</p> <p>「体育理論」・・・効果的な動きのメカニズム、技能と体力</p>			
	3学期	<p>「バドミントン」                      基本練習・・・スマッシュ、ドライブ、ドロップ、クリアー、ロブ、サーブなど                      応用練習・・・ゲーム（ダブルス）                      「卓球」                      基本練習・・・ツッツキ、ドライブ、サービス、スマッシュ</p> <p>「体育理論」・・・体力トレーニング、運動やスポーツでの安全の確保</p>			
評価基準	<p>①「出席状況」（欠席、見学、遅刻）                      ②「関心・意欲」                      ③「態度」                      ④「技能・表現」                      上記①～④を総合して評価する。                      ①・②・③は各5点、④は各15点とし、計30点満点の得点に応じて評価をつける。                      欠席時数が授業の3分の1を越えた場合と5段階評定が『1』の場合は、単位は認定しない。</p>				
教材	<p>教科書： 大修館書店『現代高等保健体育 改定版』</p>				